

H25

## 1級問題 共通

### 【広告物の種類及び構造】

- 1 デジタルサイネージとは、デジタルサイン(電子看板)のことである。 (24年度 真偽)
- 2 布や網などで作成して構築物に取り付けられる広告幕は、屋外広告物とはいわない。 (23年度 真偽)
- 3 常時又は一定の期間継続して屋外で表示されていれば、建植廣告板、けん垂幕、屋上看板のいずれもが、屋外廣告である。 (22年度 真偽)
- 4 屋外廣告物は、広い意味でいわゆるOOHと言われる定義にあたる。 (22年度 真偽)
- 5 野球場内、遊園地内、駅のホームなどに表示された廣告物は、屋外廣告物に該当する。 (21年度 真偽)
- 6 建築物の外壁に光を投影することによって表示する廣告物は屋外廣告物である。 (21年度 真偽)
- 7 スタンド式看板等の可動式廣告は、設置場所に関わらず屋外廣告物である。 (20年度 真偽)
- 8 ポスター・パネル及びバナーは屋外廣告物ではない。 (19年度 真偽)
- 9 情報機能による廣告板の分類として、正しい組合せはどれか。 (24年度 択一)
  - イ 平型廣告板、箱型廣告板、立体廣告板、特殊廣告板
  - ロ 屋上廣告板、壁面廣告板、突出廣告板、吊下廣告板
  - ハ 塗装廣告板、プラスチック廣告板、粘着シート廣告板、金属銘板
  - ニ 誘導サイン、名称サイン、案内サイン、規制サイン
- 10 公共サインはパブリックサインというが、商業サインをなんと呼ぶか。 (23年度 択一)
  - イ コマーシャルサイン
  - ロ コミュニティサイン
  - ハ コーポレートサイン
  - ニ パーソナルサイン
- 11 広告物に関する記述として、屋外廣告物に該当するものはどれか。 (23年度 択一)
  - イ 駅構内の廣告物で、改札口の内側の人に対して表示された廣告物
  - ロ 駅のホームで乗客にのみ表示されるが、上屋(屋根)のない場所にある廣告物
  - ハ 改札口を通らなくとも自由に通り抜けができるコンコース内の廣告物
  - ニ 駅ホームから線路をはさんで反対側にあるホームの人に対して表示する廣告物
- 12 屋外廣告物の範ちゅうに含まれない廣告メディアはどれか。 (22年度 択一)
  - イ アドバルーン
  - ロ アーチ
  - ハ のれん
  - ニ チラシ
- 13 屋外廣告物はOOHに含まれるが、その正式名称として正しいものはどれか。 (21年度 択一)
  - イ Out Of House
  - ロ Outdoor Of Home
  - ハ Out Of Home
  - ニ Outdoor Of House

- 14 プラスチック成形加工サインの特色に関する記述のうち、誤っているものはどれか。(20年度 択一)
- イ 真空成形サインは、均質な立体曲げ加工による量産サインである。  
ロ 真空成形サインは、加熱した材料と型の間の空気を吸引して成形する。  
ハ 圧空成形サインは、真空成形の逆の製法だが量産に向きである。  
ニ 圧空成形サインは、精度の高い曲げ加工に適した量産サインである。
- 15 広告物の特色に関する記述として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 広告塔は、遠望効果を狙うものだが、建物屋上設置広告塔は景観を阻害する恐れがある。  
ロ 突出広告板は、商店や会社への誘導機能を果たし、繁華街の主要な広告物なので街並みに配慮する。  
ハ センスのあるデザインによって統一された広告併用街路灯は、街のイメージを高める。  
ニ 電光広告板は、情報機能効果を優先させるため、景観調和の対象外となる。

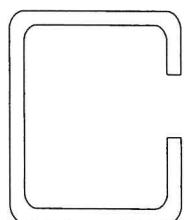
### 【広告物の素地の製作方法】

- 16 独立広告塔のベースプレートのボルト穴とアンカーボルトのずれを避けるためには、基礎鉄筋枠にアンカーモルトを固定するとよい。 (24年度 真偽)
- 17 老舗などに見られる自然材料を利用した文化継承の建物は、エイジング効果がある。 (24年度 真偽)
- 18 真空成形サインのプラスチックは、熱で軟化させた板を型に乗せ、圧縮空気で押し付け成形したものである。 (23年度 真偽)
- 19 箱文字(凸文字)に屋外用粘着シートを貼る場合は、文字面を先に貼ってから立ち上がり面を貼る。 (23年度 真偽)
- 20 鉄骨組の屋外広告物は、鋼材枠の現場溶接を避け、できるだけ工場溶接で製作するとよい。 (22年度・真偽)
- 21 エアスプレーガンは、空気圧を高くして空気量を多くすると霧は粗くなる。 (21年度 真偽)
- 22 真空成形サインのプラスチックは、熱で軟化された板を型に乗せ圧縮空気で押し付け成形したものである。 (20年度 真偽)
- 23 鉄骨工事において、2枚以上の鋼材をボルト接合するときは、接合摩擦面を平滑に仕上げた後、防錆塗料を塗り、強力な力で締め付ける。 (19年度 真偽)
- 24 木枠布張り広告板の木枠の中棟は、枠と面一にする。 (18年度 真偽)
- 25 鉄アングル枠にアルミ板を貼る場合、適切でない方法はどれか。 (24年度 択一)
- イ リベット止め  
ロ タッピングしてビス止め  
ハ スポット溶接  
ニ テクス(タッピングスクリュねじ)締め
- 26 1m角の「ロ」の文字をネオンサインで点灯させた場合、可読限界距離として、正しいものはどれか。 (24年度 択一)
- イ 約500m  
ロ 約1500m  
ハ 約2500m  
ニ 約3500m

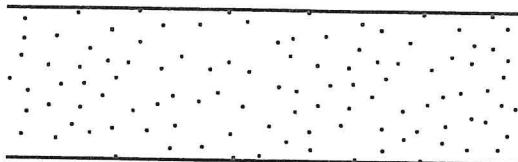
- 27 塗装の際の注意点に関する( )内に当てはまる数値の組合せとして、適切なものはどれか。
- 低温、多湿を避けること。気温が(A)℃以下になると塗料は急に乾きが遅くなる。  
 また、湿度が(B)%以上になると塗膜にかぶりなどが生じ、ツヤがなくなることがある。(24年度 択一)
- |   | A  | B  |
|---|----|----|
| イ | 10 | 55 |
| ロ | 5  | 65 |
| ハ | 10 | 75 |
| ニ | 5  | 85 |
- 28 EP塗装の意味として、正しいものはどれか。(23年度 択一)
- イ 塩化ビニル樹脂エナメル塗装
  - ロ 油性調合ペイント塗装
  - ハ エマルジョンペイント塗装
  - ニ 合成樹脂ペイント塗装
- 29 屋外広告物の鉄鋼枠組みの溶接作業の用語に関する記述のうち、誤っているものはどれか。(22年度 択一)
- イ 溶けた金属の表面にできるカスをスラグという。
  - ロ 固まった溶材の中にできた気泡のことをブローホールという。
  - ハ 溶接表面にできるうろこ状の凹凸のことをビードという。
  - ニ 溶接の肉が盛り過ぎのところをアンダーカットという。
- 30 垂直板面塗装のスプレーガン操作法に関する記述として、誤っているものはどれか。(21年度 択一)
- イ 吹付け距離が近すぎると、塗膜が厚くなり流れる。
  - ロ スプレーガンの運びは広告板面に対し、傾けて行う。
  - ハ スプレーガンの運びは、あまり速すぎると塗膜が薄くなり、遅すぎると垂れを生じる。
  - ニ 吹付け距離が遠すぎると、塗膜が薄くなり、塗装面の光沢がなくなる。
- 31 めっき加工をしないで表面仕上げする真鍮文字はどれか。(18年度 択一)
- イ みがき金
  - ロ 赤銅
  - ハ 青銅
  - ニ ホワイトブロンズ

### 【広告物の製作図の作成方法】

- 32 構造計算書は、設計図に含まれる。(23年度 真偽)
- 33 下図は、広告物の製作取付けに使用される軽量山形鋼のリップ溝形鋼である。(23年度 真偽)



- 34 日本工業規格（JIS）の建築製図通則によれば、下図は、左官仕上げの材料構造表示記号である。  
(22年度 真偽)



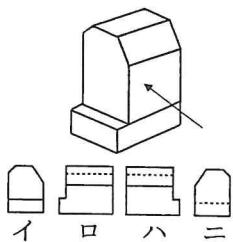
- 35 設計製図において破線は、かくれ線のことである。 (21年度 真偽)
- 36 日本工業規格（JIS）によれば、製図に用いる文字について、漢字は3.5mm以上、仮名は2.5mm以上と定められている。 (20年度 真偽)
- 37 日本工業規格（JIS）によれば、製図で倍尺を表す場合は、「尺度2:1」のように表す。 (19年度 真偽)
- 38 日本工業規格（JIS）の製図によれば、透視図の作図に関する文字と用語の組合せとして、誤っているものはどれか。 (23年度 択一)

【文字】	【用語】
イ X	基準線
ロ h	垂直線
ハ V	消点
ニ Sp	停点

- 39 日本工業規格（JIS）の製図－寸法記入方法によれば、寸法補助記号の項目と記号の組合せのうち、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)

項目	記号
イ 直径	φ
ロ 球の半径	R
ハ 板の厚さ	t
ニ 45℃の面取り	C

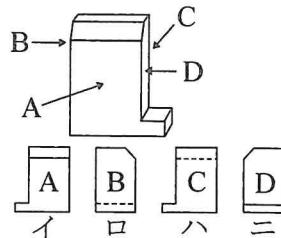
- 40 日本工業規格（JIS）の製図投影法における第三角法の描き方として、矢印の方向から見た図はどれか。 (21年度 択一)



- 41 日本工業規格（JIS）の製図－文字に関する記述として、正しいものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 製図に用いる大文字のローマ字及び数字の高さは、4.0mm以上とする。
- ロ 製図に用いる大文字のローマ字及び数字の高さは、3.0mm以上とする。
- ハ 製図に用いる大文字のローマ字及び数字の高さは、2.5mm以上とする。
- ニ 製図に用いる大文字のローマ字及び数字の高さは、1.5mm以上とする。

42 物体をA～Dの方向から見たときの正面図として、誤っているものはどれか (19年度 択一)



43 文中の( )内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

建築基礎構造設計指針、鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説によって、高さが( )mを超える広告物の基礎の計算をする。

(19年度 択一)

- イ 2
- ロ 4
- ハ 10
- ニ 15

### 【広告物の取り付け方法】

44 地上で自立する広告物の基礎のアンカーボルトは、鉄筋コンクリート造の基礎を打設後、ボルトをコンクリートに差し込む。(23年度 真偽)

45 鉄板製屋根材に広告物を取り付ける場合は、折り面の谷の部分をボルトで固定するとよい。(22年度 真偽)

46 公道上における屋外広告物の取付工事は、交通に支障がなければ、所管する警察署長の許可は不要である。(21年度 真偽)

47 高力ボルト(ハイテンションボルト)接合に関する記述として、誤っているものはどれか。(24年度 択一)

- イ 建築基準法関係法令では、高さが9mを超える広告物のボルト接合には、高力ボルトの使用を義務づけている。
- ロ 高力ボルトにより接合する鋼材の摩擦面には、さびどめ塗装をしてはならない。
- ハ 高力ボルトを締め付ける際、普通のスパナでは規定の張力が出にくい。
- ニ 高力ボルトの穴径は、ボルト径プラス4mmである。

48 あと施工アンカーボルトの許容引抜力は、コンクリート表面からボルトのくさび効果で、拡張した部分までの深さで決まるが、Φ16mmのボルトタイプで深さ100mmまで打ち込んだ場合、その許容引抜力はどれか。(24年度 択一)

- イ 10kN
- ロ 30kN
- ハ 50kN
- ニ 70kN

49 屋外広告物設置工事において、鉄筋コンクリートの特性として、適切なものはどれか。(23年度 択一)

- イ 曲げに弱い
- ロ 圧縮力に強い
- ハ 熱に弱い
- ニ 鉄筋が錆びやすい

- 50 アンカーボルトには、引張力とせん断力が作用するが、ワッシャー(座金)を使用するときの許容耐力に関する記述として、正しいものはどれか。 (23年度 択一)
- イ 引張力及びせん断力に対する許容耐力は、変わらない。  
ロ 引張力が増し、せん断力に対する許容耐力は、変わらない。  
ハ 引張力は変わらないが、せん断力に対する許容耐力は、増加する。  
ニ 引張力及びせん断力に対する許容耐力は、増加する。
- 51 屋外広告板を壁面に取り付ける際、トラッククレーンによるつり上げ取付けが多く行われているが、その理由として適切でないものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 安全であるため  
ロ 工期が短縮できるため  
ハ 費用が節約できるため  
ニ 保安要員が不要であるため
- 52 ビルの壁面に突出し広告板を取り付ける場合、最も安全で適切な方法はどれか。 (22年度 択一)
- イ 建築時にアンカーボルトの位置を正確に決めておく。  
ロ 建築時にアンカーボルトを埋め込む。  
ハ 建築時にアンカーボルトを鉄筋及び鉄骨に溶接する。  
ニ 建築後アンカーボルトを埋めコーティングする。
- 53 広告物等取付けに用いる接合金物の分類として、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)
- 接合金物 分類
- イ 溶接用アンカー 一 金属用接合金物  
ロ 固定型インサート 一 コンクリート用金物  
ハ ポルト 一 木材用金物  
ニ ハイテンションボルト 一 金属用金物
- 54 後打ちアンカーボルトの効力は、コンクリート表面からボルトのくさび効果で、拡張した部分までの深さで決まるが、 $\phi 16\text{mm}$ のボルトタイプで深さ100mm打ち込んだ場合、その許容引抜力は、次のど  
れか。 (20年度 択一)
- イ 0.5トン  
ロ 1トン  
ハ 2トン  
ニ 3トン
- 55 建植広告板の柱を埋め込む方法として、最も適切なものはどれか。 (19年度 択一)
- イ 根元を基礎コンクリートで固める。  
ロ 根元に根がらみを付け、基礎コンクリートで固める。  
ハ 根元に根切りをして、基礎コンクリートで固める。  
ニ 根元を柱の1/2以上埋め込む。
- 56 広告板のつり下げに使用するつりボルトの耐力を材質により比較すると、大きいものから順に並べたものは、次のどれか。 (18年度 択一)
- イ SS400 > SUS304 > 鑄物製  
ロ SUS304 > 鑄物製 > SS400  
ハ 鑄物製 > SS400 > SUS304  
ニ SUS304 > SS400 > 鑄物製

## 【広告物の安全に関する力学の基礎】

57 広告物に作用する力のうち、風圧力は広告物の重量に、地震力は広告物の形態や表面積に応じて大きくなる。 (24年度 真偽)

58 長時間繰り返し荷重を受けていると、強度が低下し破壊にいたることがあり、この現象を疲労と呼ぶ。 (23年度 真偽)

59 風圧力は下記の式で求められる。 (22年度 真偽)

$$\text{風圧力} = \text{速度圧} \times \text{風力係数}$$

60 広告物に対する風圧力及び地震力は、屋上広告物、壁面広告物、自立広告物等、広告物の種類や設置場所に関わらず、常に一定である。 (21年度 真偽)

61 建築物外壁に取り付けた広告物に作用する地震力は、広告板とその支持構造物の重量の合計よりも大きい。 (18年度 真偽)

62 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。 (24年度 択一)

自立式大型広告塔の基礎底面には、広告物自重と基礎の自重の他に、地震や風圧の力が基礎に伝達される。地盤はそれらの力に耐えられる強さがなければならない。

この力を( )という。

- イ 長期応力
- ロ 短期応力
- ハ 地耐力
- ニ 許容応力

63 表面積の大きな広告物の取付けに関する記述として、適切なものはどれか。 (23年度 択一)

- イ 風圧力よりも積雪荷重の影響が大きい。
- ロ 風圧荷重には耐えるが、地震力には非常に弱い。
- ハ 風圧力の影響をより重視しなければならない。
- ニ 風圧力よりも自重を考慮しなければならない。

64 次のうち、地震力に最も影響を与えるものはどれか。 (22年度 択一)

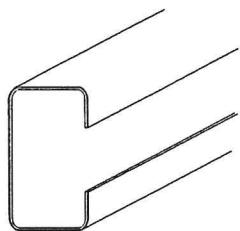
- イ 広告物の高さ
- ロ 広告物の底辺
- ハ 広告物の体積
- ニ 広告物の重量

65 地盤の許容応力度及び基礎ぐいの許容支持力の高い順序として、正しいものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 1. 岩盤 2. 密実な礫層 3. ローム層 4. 堅い粘土質
- ロ 1. 密実な礫層 2. 堅い粘土質 3. 岩盤 4. ローム層
- ハ 1. 岩盤 2. 密実な礫層 3. 堅い粘土質 4. ローム層
- ニ 1. 密実な礫層 2. 岩盤 3. ローム層 4. 堅い粘土質

- 66 文中の( )内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。  
広告物が風を受けるとき、風下側基礎には( )に圧縮力が発生し、風上側基礎には浮上力が発生する。  
(21年度 択一)
- イ 水平方向  
ロ 風上方向  
ハ 風下方向  
ニ 鉛直方向
- 67 大型広告物に関する設計上の力に関する記述として、適切でないものはどれか。 (20年度 択一)
- イ 外力には、風力と地震力などがある。  
ロ 広告物自身の重量は、固定荷重という。  
ハ 広告物は、積雪荷重をもとに設計する。  
ニ 壁面直付の平形広告板は、風圧力の影響が少ない。
- 68 構造計算上、構造物が受ける外力として、誤っているものはどれか。 (19年度 択一)
- イ 腐食  
ロ 雪  
ハ 地震  
ニ 重力や風
- 【材 料】**
- 69 針金の太さは、番手の数字が大きくなるほど太くなる。 (24年度 真偽)
- 70 プラスチックの材料の膨張率(伸び)は、約6%である。 (24年度 真偽)
- 71 広告面の素材として多用されている樹脂低発泡材を芯に挟んだスチール複合板は、表面にフッ素加工を施すことにより、ホワイトボードとしても使用することができる。 (24年度 真偽)
- 72 同一条件において、合成樹脂調合ペイントは、合成樹脂エマルションペイントよりも乾燥が速い。 (23年度 真偽)
- 73 屋外用金属造型文字の仕上げ材として、合成樹脂ペイントは、粘着シートより耐久性がよい。 (23年度 真偽)
- 74 真鍮は、銅と亜鉛の合金である。 (22年度 真偽)
- 75 ウッドシーラーは、木部塗装の場合の塗料の吸い込み止めに用いる。 (22年度 真偽)
- 76 同一条件において、合成樹脂調合ペイントは、合成樹脂エマルションペイントより乾燥硬化が遅い。 (21年度 真偽)
- 77 自然材料を利用したり文化継承の建物はエージングが美しいが、老舗などはエージングを生かした建物といえる。 (20年度 真偽)
- 78 強化プラスチックは、屋外広告板用の素材として適さない。 (19年度 真偽)
- 79 顔料には、油に溶ける性質はない。 (19年度 真偽)
- 80 LEDは、高輝度であるが反射サインには適していない。 (18年度 真偽)

81 日本工業規格（JIS）によれば、下図に示す材料の名称はどれか。 (24年度 択一)



- イ 軽溝形鋼
- ロ リップ溝形鋼
- ハ リップC形鋼
- ニ 軽溝C鋼

82 屋外広告にも使用が多くなったLEDについて、以下の波長の場合、対応する発光色の組合せとして、誤っているものはどれか。 (24年度 択一)

【波長 (nm)】 【発光色】

- |       |   |
|-------|---|
| イ 470 | 青 |
| ロ 660 | 赤 |
| ハ 580 | 黄 |
| ニ 750 | 緑 |

83 LEDの正式名称として、正しいものはどれか。 (23年度 択一)

- イ Light Energy Diode
- ロ Light Electronic Diode
- ハ Light Emitting Diode
- ニ Light Emanation Diode

84 木材に関する記述として、誤っているものは、次のどれか。 (23年度 択一)

- イ 板面に模様として表れる年輪は、木理と呼ばれる。
- ロ 木材は、水分により収縮を起こすため、含水率10%前後に乾燥したものを使用する。
- ハ 彫刻に用いられる板は、松材が適している。
- ニ 樹皮に近い部分は淡色で軟らかく、これを白太と呼ぶ。

85 普通コンクリートの気乾単位容積質量として、最も適切なものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 1.3 t/m<sup>3</sup>
- ロ 1.8 t/m<sup>3</sup>
- ハ 2.3 t/m<sup>3</sup>
- ニ 2.8 t/m<sup>3</sup>

86 材料表示で「アルミ板 t=2.0」とある場合の意味として、正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ アルミ板の重さが2.0kg
- ロ アルミ板の重さが2.0トン
- ハ アルミ板の厚みが2.0mm
- ニ アルミ板の厚みが2.0cm

87 鋼材の性質に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 原料の鉄に炭素やその他の金属を加えたものである。
- ロ 比重が大きいため、運搬が容易ではない。
- ハ 熱伝導率が低く、高温でも強度を保つ。
- ニ 酸化しやすく、錆を防ぐ対策が必要である。

88 塗料材料に関する記述として、正しいものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 油性のパテを調色する場合には、調合ペイントを使用して調色するとよい。
- ロ 調合ペイントは、乾燥剤の量を多く入れるほど素早く乾燥する。
- ハ 合成樹脂調合ペイントは、乾燥するとぬれ色より薄くなる。
- ニ 調合ペイントを薄めるためには、ラッカーシンナを使用するとよい。

89 鉄板に直に塗装し、長期間屋外に掲示する広告板を製作する場合に使用する塗料で、適切でないものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 合成樹脂塗料
- ロ ラッカ一塗料
- ハ 酢酸ビニルエマルジョンペイント
- ニ 油性塗料

90 スクリーンプロセス印刷のスクリーンのメッシュとして、使用されないものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 60メッシュ
- ロ 100メッシュ
- ハ 300メッシュ
- ニ 600メッシュ

91 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

アクリル板は熱による膨張が大きく、その上( )による伸びという特性もあるので、枠の製作には、板の伸び寸法を計算に入れる必要がある。

(19年度 択一)

- イ 乾燥
- ロ 吸水
- ハ 自重
- ニ たわみ

92 樹脂低発泡材をサンドイッチしたアルミ複合板の芯材はどれか。 (18年度 択一)

- イ ポリスチレン
- ロ ポリエチレン
- ハ スチロール
- ニ ポリプロピレン

93 木製浮き出し文字の素材として、最も適しているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ かつら材
- ロ ひのき材
- ハ ラワン材
- ニ 赤松材

94 日本工業規格（JIS）に規定する形鋼の分類として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ V形鋼
- ロ H形鋼
- ハ I形鋼
- ニ T形鋼

### 【機械器工具】

95 合金製ブラインドリベットは、アルミニウム製ブラインドリベットより強度が高い。 (22年度 真偽)

96 太陽は自然照明であるが、火・白熱電球、蛍光灯、水銀灯は、すべて人工照明である。 (20年度 真偽)

97 エアスプレーガンは、空気圧を高くして空気量を多くすると霧は粗くなる。 (19年度 真偽)

### 【コミュニケーションとデザイン】

98 ダグマーの広告効果の階層モデルによれば、我々がある行動を取るときは、未知→認知→理解→確信を経て行動にいたるとされている。 (23年度 真偽)

99 「A I D M A (アイドマ) の法則」によれば、消費者がある商品を知って購入に至るまでに7つの段階があるとされている。 (22年度 真偽)

100 ダグマーの広告効果の説によれば、我々がある行動を取るとき、未知名→知名→理解→確信を経て行動に至る。 (20年度 真偽)

101 「A I D M A (アイドマ) の法則」によれば、広告効果の階層モデルは、注目→興味→記憶→欲求を経て行動にいたる。 (19年度 真偽)

102 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

ユニバーサルデザインは、文化や言語の違い及び老若男女といった差異、障害、能力を問わず利用することができる施設、製品、( )の設計(デザイン)をいう。

(24年度 択一)

- イ 映像
- ロ バリアフリー
- ハ 情報
- ニ 安全

103 広告景観のコミュニケーション目標として、適切でないものはどれか。 (23年度 択一)

- イ 質の高い広告景観の創出をはかる。
- ロ 地域の特性を活かした街並み整備を促進する。
- ハ 企業目的にそって表現の自由を守る。
- ニ サイン情報の送り手は、立場を代えれば受け手でもある。

104 「AIDMA (アイドマ) の法則」の最初のA、I、Dが表す意味の組合せとして、正しいものはどれか。 (20年度 択一)

	A	I	D
イ	Attention (注目)	Image (イメージ)	Design (デザイン)
ロ	Attention (注目)	Interest (興味)	Desire (欲求)
ハ	Action (行動)	Image (イメージ)	Design (デザイン)
ニ	Action (行動)	Interest (興味)	Desire (欲求)

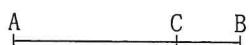
- 105 「A I D M A (アイドマ) の法則」によれば、広告効果の階層モデルは、注目→興味→記憶→欲求を経て行動にいたる。 (18年度 真偽)

### 【デザインの基礎】

- 106 「点」は形態の原点であり位置を表し、「点」が移動する軌跡によって(長さが生じ方向性となり)「線」を形成する。その「線」の移動による軌跡として「面」が生まれる。 (24年度 真偽)

- 107 線上に大円から小円へ順次配列された構図は、一つの方向性を示している。 (24年度 真偽)

- 108 黄金分割では、線分AB上の点Cを求めるとき、 $AC : BC = AB : AC$ となるようにする。 (23年度 真偽)



- 109 レタリングにおけるスペーシングとは、語句と語句との間の調整をいう。 (23年度 真偽)

- 110 黄金分割と呼ばれる比率は、1:1.2である。 (22年度 真偽)

- 111 フォトモンタージュには、2枚以上の印画紙や写真の貼りつけ、二重焼や多重露出などの技法がある。 (22年度 真偽)

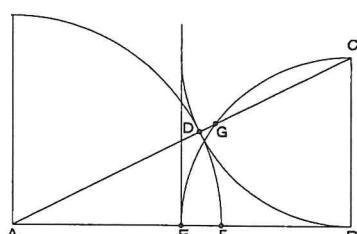
- 112 レタリングにおけるスペーシングとは、行間を調整することをいう。 (21年度 真偽)

- 113 縦と横の比が1:2の四辺形の長辺を2等分しても、面積が2分の1になった四辺形の縦と横の比は変わらない。これを黄金比という。 (20年度 真偽)

- 114 黄金分割と呼ばれる比率は、1:1.618である。 (19年度 真偽)

- 115 写植文字で同級数であれば、ローマ字のベースラインと漢字基準枠の下線は揃う。 (19年度 真偽)

- 116 下図はユーカリッドによる線分ABの黄金比の求め方を示したものである。AE=BCであるとき、この図の黄金分割点として、正しいものはどれか。ただし、図は手順のみを示しており、寸法は正確ではない。 (24年度 択一)



- イ D  
ロ E  
ハ F  
ニ G

- 117 文中の( )内に当たる語句として、適切なものはどれか。

画材を用いず、実物(紙、布、砂、金属板、木の薄板など)を直接、画面に貼付け、様々な色彩や質感の組合せによって、全く新しい画面を表現する技法を( )という。

(24年度 択一)

- イ コラージュ  
ロ フロッタージュ  
ハ デカルコマニー  
ニ オブジェ

118 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

デザイン構成において、2つ以上の要素又は部分の相互関係が、分離したり排斥し合わないで、統一された全体として感覚的効果を發揮しているとき、( )という。

(23年度 択一)

- イ 対比している
- ロ シンメトリーである
- ハ ダイナミックである
- ニ 調和している

119 文中の( )内に当てはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

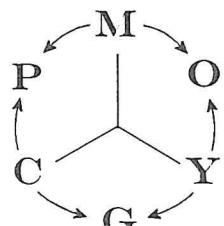
シンメトリーとは、左右の( a )が全く( b )であったり、同じ( c )が放射状にレイアウトされたりしている場合のことをいう。

	a	b	c
イ	対称	定形	対称
ロ	形態	均衡	対称
ハ	対称	均等	形態
ニ	形態	対称	形態

120 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

下図の色相環で、M-Y-Cは(a)の三原色である。0-G-Pはそれぞれ(b)色の混合で得られ(c)色を混合すると理論的には黒になる。これを(d)法混色といふ。

(21年度 択一)



	(a)	(b)	(c)	(d)
イ	光	2	3	加
ロ	色	2	3	加
ハ	光	3	全	減
ニ	色	2	3	減

121 硬めの紙に絵の具を塗り、その他の材料を密着させた後に離したとき、偶成的な形が生じるが、この手法は、次のどれか。

(21年度 択一)

- イ コラージュ
- ロ フロッタージュ
- ハ デカルコマニー
- ニ オブジェ

- 122 デザインに関する記述中のイ～ニの( )のうち、誤っているものはどれか。  
デザイン構成における調和とは、(イ 2つ以上)の要素又は部分の(口 相互関係)が分離や(ハ 結合)し合わないで、統一された全体としての(ニ 感覚的効果)を発揮しているときに、調和しているという。  
(18年度 択一)

### 【広告デザイン】

- 123 一般に、ローマ字書体の斜体は、ボールドと呼ばれている。 (24年度 真偽)  
124 企業行動の表出のシステムのCIとは、コーポレート・イメージの略である。 (24年度 真偽)  
125 BIとは、ブランドイメージのことである。 (24年度 真偽)  
126 CIとは、コーポレート・イメージの略号である。 (23年度 真偽)  
127 企業の新しい理念構築に始めるイメージやコミュニケーション・システムを意図的・計画的に作り出す経営戦略を“CI”(コーポレート・アイデンティティ)という。 (21年度 真偽)  
128 ローマ字書体のラインシステムの中で、小文字の高さを決めるため特に重要なラインをミーンラインという。 (21年度 真偽)  
129 ピクトグラムは、様々な事象を視覚化した図記号のことである。 (20年度 真偽)  
130 一般に、ローマ字書体の斜体は、イタリックと呼ばれている。 (20年度 真偽)  
131 ヘルベチカ書体はどれか。 (24年度 択一)

イ ABCDEFGH

ロ ABCDEFGH

ハ ABCDEFGH

ニ ABCDEFGH

- 132 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

一般に屋外広告物や公共サイン等は、案内・誘導・支持・禁止などの機能があるが、これらとともに、街の個性を創り、その(A)に深く関わるものとして、(B)が重視される。 (24年度 択一)

A	B
イ 販売促進	メッセージ
ロ アイデンティティ	販売促進
ハ 都市化	ライトアップ
ニ 景観形成	アイデンティティ

- 133 ローマ字のラインシステムの中で、小文字の高さを決めるために特に重要なラインはどれか。 (23年度 択一)

イ アセンダーライン
ロ ミーンライン
ハ ベースライン
ニ ディセンダーライン

134 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

2本のネオン管が分かれて見える限界は、その間隔の1000～1500倍と言われている。ネオン管文字の「田川」が1000m離れて読めるためには、文字高は最低( )m以上必要である。

(23年度 択一)

- イ 1
- ロ 2
- ハ 4
- ニ 8

135 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

屋外広告物において、広告面は(1)であり、文字やシンボルマークは(2)に当たる。しかし、都市環境の中では広告面が(3)となり、都市空間は(4)となる。

(22年度 択一)

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| イ | 地 | 図 | 地 |
| ロ | 地 | 図 | 図 |
| ハ | 図 | 地 | 図 |
| ニ | 図 | 地 | 地 |

136 ピクトグラムに関する記述として、正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 対象の形や概念を抽象化した図記号である。
- ロ 公共空間での案内・誘導・指示など、その機能の使用範囲は限定的である。
- ハ 異言語、異文化のコミュニケーション・ツールとしては機能しにくい。
- ニ 「アイコン」は、ピクトグラムの概念からは外れる。

137 サイン文字の視認性と可読性に関する記述のうち、正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 視認性も可読性も、都市空間ではほとんど同じ意味に用いられている。
- ロ 照明の輝度が高いほど、視認性も可読性も高くなる。
- ハ 夜間・内照式サインの場合、黒ベースに白抜きの特太ゴシック体は、視認性・可読性ともに高い。
- ニ 自動車から見る場合、スピードを上げるほど視認性も可読性も低くなる。

138 文中の( )内に当てはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

サインにはシンボルとシグナルの機能がある。あるネオンサインを見て自分の訪問先の目印とする場合、そのサインは( a )であり、また古い街並みの中の伝統サインに心安らぐ時、その( b )は、( c )として機能している。

(21年度 択一)

- |        |     |      |
|--------|-----|------|
| a      | b   | c    |
| イ シグナル | 看板  | シンボル |
| ロ シグナル | 建築物 | シンボル |
| ハ シンボル | 看板  | シグナル |
| ニ シンボル | 建築物 | シグナル |

- 139 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
- 2本のネオン管が分かれて見える限界は、その間隔の1000~1500倍と言われている。ネオン管文字の「田川」が1000m離れて読めるためには、文字高は最低( )m以上必要である。  
(21年度 択一)
- イ 1  
ロ 2  
ハ 4  
ニ 8
- 140 サンセリフ書体「ユニバース」はどれか。  
(20年度 択一)
- 
- 141 書体デザインとそれが誕生したときの時代思想との組合せとして、誤っているものはどれか。  
(18年度 択一)
- イ モダンローマン体－情報化時代(現代)  
ロ サンセリフ体－機能主義のデザイン思想  
ハ ゴシック体(ドイツ文字)－中世キリスト教文明  
ニ オールドローマン体－古代ギリシャ、ローマ文明
- 142 サイン文字の可読性に関する記述として、誤っているものはどれか。  
(18年度 択一)
- イ 視認性の高い文字は必ずしも可読性が高いとは限らない。  
ロ 照明の輝度を上げると文字の可読性は落ちる場合がある。  
ハ 自動車から見る場合、スピードを上げるほど可読性は高まる。  
ニ 夜間、内照式サインの場合、黒地に白抜きの特大ゴシック体は、可読性が低い。
- 143 ローマ字書体が活字として製作された時代の順序として、正しいものはどれか。  
(18年度 択一)
- イ オールドローマン→モダンローマン→ゴシック→サンセリフ  
ロ ゴシック→オールドローマン→モダンローマン→サンセリフ  
ハ ゴシック→オールドローマン→サンセリフ→モダンローマン  
ニ オールドローマン→ゴシック→サンセリフ→モダンローマン
- 【色 彩】**
- 144 ビビットな色調は、「はっきりとした」、「鮮やかな」、「強い」などのイメージを持っている。  
(24年度 真偽)
- 145 マンセル色彩表示において、赤の彩度は、10Rより5Rのほうが低い。  
(24年度 真偽)
- 146 色の三属性とは、色相、明度及び彩度である。  
(23年度 真偽)
- 147 マンセル記号による色表示のうち、5B6/5は、濃い緑の系統の色である。  
(23年度 真偽)
- 148 マンセル記号5Y 6/5は、濃い緑の系統の色を表す。  
(22年度 真偽)
- 149 マンセルカラーシステムにおいて、各色相の純色は、無彩色軸から等距離になっている。  
(22年度 真偽)
- 150 深さを感じる、落ち着いて明るいなどの印象は、明度、彩度に関係なく、色相の使い方によってもたらされる。  
(21年度 真偽)

151 ビビットな色調は、一般的に「はっきりとした」、「鮮やかな」、「強い」などのイメージを持っている。(21年度 真偽)

152 演色とは、照明によって物体色の見えが変わった感じのことである。(20年度 真偽)

153 青みを帯びた短波長域の光は、赤みを帯びた長波長域の光よりも色温度が高い。(19年度 真偽)

154 補色関係にある2つの色を混合すると灰色に近くなる。(18年度 真偽)

155 2色の対比に関する説明として、正しいものはどれか。(24年度 択一)

イ 補色の場合、それぞれの明度が高いほど、色の対比が強くなる。

ロ 補色であれば、どんな場合でも対比は強い。

ハ 色相対比であれば、明度・彩度と関わりなく対比は強い。

ニ 類似色相では、対比関係は弱い。

156 色の対比に関する記述として、誤っているものはどれか。(24年度 択一)

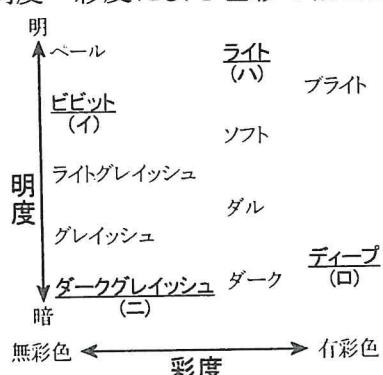
イ 赤色の背景の中の黄赤は、黄みを帯びて見える。

ロ 黄色の背景の中の黄赤は、赤みを帯びて見える。

ハ 黄色の背景の中の明るい灰色は、紫がかった見える。

ニ 紫色の背景の中の明るい灰色は、紫がかった見える。

157 下図は、明度・彩度による色彩の概念図である。誤っているものはどれか。(23年度 択一)



158 マゼンタ・イエロー・シアンの三原色に関する記述として、正しいものはどれか。(23年度 択一)

イ この三原色は加法混色である。

ロ この三原色を同量で混合すると、明色になる。

ハ マゼンタとシアンの混合によって青・青紫・紫の純色に近い色になる。

ニ この三原色を混合すると、理論上、白色になる。

159 マンセル記号による色の表記「5R 4/8」の説明文の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

5Rは(1)、4は(2)、8は(3)を表している。

(22年度 択一)

	1	2	3
イ	紫みの赤	中明度	高彩度
ロ	赤	中明度	中彩度
ハ	紫みの赤	高明度	中彩度
ニ	赤	高明度	高彩度

160 混色に関する記述のうち、誤っているものはどれか。(22年度 択一)

イ 混色には、加法混色、減法混色及び中間混色と呼ばれるものがある。

ロ 絵具や染料などの物体色は、混ぜ合わせると色が暗くなる。

ハ 中間混色は、板面を色区分したものを回転させて確認することができる。

ニ 織物やカラー印刷の網点などの混色は、加法混色に属する。

- 161 彩度に無関係なものはどれか。 (20年度 択一)
- イ ビビッド (Vivid)  
口 トーン (Tone)  
ハ ディープ (Deep)  
ニ ダーク (Dark)
- 162 パソコン画面をプリントアウトして取り出す場合の原色の組合せとして、正しいものはどれか。  
(19年度 択一)
- イ M Y C  
口 R G B  
ハ M Y C B k  
ニ R G B W
- 163 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
- 色彩の「トーン」は彩度と明度の組合せで決まる。原色といわれる色は、( )に当たる。  
(19年度 択一)
- イ ライトトーン  
口 ダルトーン  
ハ ビビッドトーン  
ニ ディープトーン
- 【美観風致】
- 164 環境アセスメントとは、将来できる建造物等の人間に及ぼす影響を評価することである。 (24年度 真偽)
- 165 都市の景観は、建築物、道路、広告物などの人工的要素によってのみ創り出される。 (24年度 真偽)
- 166 地域における景観の特性を把握するためには、自然、生活文化、空間などの要素を考慮することが重要である。 (23年度 真偽)
- 167 ランドマークとしての人工的な建造物は、地域における景観の特性を把握する上では特に考慮する必要はない。 (21年度 真偽)
- 168 屋外広告物法や都市計画法にいう風致とは自然美を、景観とは人工美を指している。 (20年度 真偽)
- 169 自然が豊かな環境に屋外広告物を設置する場合、その色彩を植物の緑よりも彩度を下げることによって、一般に環境と広告物の調和が取れやすくなる。 (19年度 真偽)
- 170 景観の定義について、文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。
- 景観とは、(①)をとりまく環境の(②)のことをいう。  
(23年度 択一)
- |      |     |
|------|-----|
| ①    | ②   |
| イ 空間 | 構造  |
| 口 人間 | ながめ |
| ハ 社会 | 美観  |
| ニ 個人 | 風致  |

171 屋外広告物は景観との関係を外して考えることができないが、この観点から見て、最も適切なデザインのあり方はどれか。 (22年度 択一)

- イ 国立公園など優れた自然環境の中では、高彩度の色彩を使ったデザインにする。
- ロ 町づくりに共感し、地域の特性に配慮したデザインにする。
- ハ 都市景観には、自然環境は含まれないので、デザインでは建造物との関係を特に重視する。
- ニ 同一デザインの小さめの広告物を連続的に配置することによって、広告効果を上げる。

172 地域の景観形成に配慮する屋外広告物の製作態度として、適切でないものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 製作した屋外広告物のメンテナンスに注意を払うこと。
- ロ 地域のアピールのため、独善的な広告物を創ること。
- ハ 交通標識や安全色彩などの公共サインに注意し、その機能を阻害しないようにすること。
- ニ 地域の広告協定などに従い、そのアイデンティティを傷つけないこと。

173 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

一般に屋外広告物や公共サイン等は、案内・誘導・支持・禁止などの機能があるが、これらとともに、街の個性を創り、その(A)に深く関わるものとして、(B)が重視される。

(21年度 択一)

A	B
イ 販売促進	メッセージ
ロ アイデンティティ	販売促進
ハ 都市化	ライトアップ
ニ 景観形成	アイデンティティ

174 良好な都市景観を創出する手段である「美観風致の維持」の「美観の維持」に関する記述のイ～ニの( )のうち、適切でないものはどれか。

(イ 都市の特性)に応じ、(ロ 建築物の配置、構造、意匠)などが(ハ 市街地における道路、公園等の公共施設)などと調和と均齊のとれたものとするなど、主として(ニ 都市における自然環境)を維持しようすること。

(20年度 択一)

175 都市景観に関する記述中のイ～ニの( )で示す部分のうち、誤っているものはどれか。

都市の景観は、建築物・道路・広告物などの(イ 人工的要素)と、これらを取りまく山・川・海などの(ロ 自然)及び都市が立地する(ハ 気候帯や地理上の位置)などによって作り出される、(ニ 五感)に訴求する感覚の総体である。 (19年度 択一)

176 風致の維持は優れた都市景観を創出する上で重要であるが、「風致」の内容として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 自然が豊かな丘陵
- ロ 郷土的意義のある田園
- ハ 緑が豊かな低密度住宅地
- ニ 歴史的建造物としての社寺

### 【関係法規】

177 都道府県知事は、簡易除却の要件を満たしている広告旗については、たとえ設置者が明らかな場合でも、設置者にあらかじめ除却等の措置を命じることなく、自ら除却することができる。 (24年度 真偽)

178 屋外広告物法や都市計画法によれば、風致とは、自然美を指している。 (23年度 真偽)

179 屋外広告物法関係法令によれば、条例によって、広告物及びこれを掲出する物件の意匠、色彩につ

いては規制できないこととなっている。 (22年度 真偽)

180 屋外広告物法関係法令によれば、適用除外広告物である限り、掲出に際して都道府県知事の許可は必要ない。 (22年度 真偽)

181 高さが4mを超える広告物を設置する場合、建築確認は要するが、構造計算書の提出は義務付けられていない。 (20年度 真偽)

182 コンサートのための広告は、一時的であれば電柱に表示することができる。 (20年度 真偽)

183 自動車の車体に表示される広告は、屋外広告物に該当しない。 (19年度 真偽)

184 屋外広告物条例ガイドライン(案)の内容に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (24年度 択一)

イ 規制を受ける側の便宜が考慮されている。

ロ 各地で定められた条例間で、屋外広告物規制に著しい差が発生しないように調整する役割も持っている。

ハ 地方公共団体が屋外広告物条例を制定・改正する際に、法律で遵守が義務付けられている基準である。

ニ 前身は「屋外広告物標準条例(案)」である。

185 条例に明らかに違反して表示され、管理されずに放置されていることが明らかな場合、都道府県知事が公告をせずに除却できる屋外広告物に関する記述として、適切なものはどれか。 (24年度 択一)

イ プラスチック板を針金など簡易な方法でフェンスに取り付けた広告は、はり札に類した広告物として除却できる。

ロ 広告旗を支える台座は、旗とは見なされないため除却はできない。

ハ 工作物に立て掛けた立看板は、取り付けられていないため除却できない。

ニ はり紙は、除却の対象外である。

186 文中の( )内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

建築基準法施行令によれば、高さが( )m以上の広告物は、地震力の計算が必要である。  
(23年度 択一)

イ 2

ロ 4

ハ 10

ニ 15

187 屋外広告物法関係法令によれば、都道府県は、条例で定めるところにより、良好な景観又は風致を維持するために必要があると認めるときは、広告物を表示し、又は掲出物件を設置することを禁止することができる物件を規定しているが、これに含まれないものはどれか。  
(23年度 択一)

イ ベンチ

ロ 記念碑

ハ 橋りょう

ニ 街路樹

188 労働安全衛生関係法令によれば、健康の保持増進のための措置として、事業者が必ず行わなければならないものはどれか。 (23年度 択一)

イ 労働者に対して健康相談のための医師を常駐させること。

ロ 常時使用する労働者に対して医師の健康診断を行うこと。

ハ 一定の伝染性の疾病にかかった労働者は、直ちに解雇すること。

ニ 有害な作業を行う屋内作業場には、立入禁止の表示をすること。

189 屋外広告物に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 常時又は一定の期間、継続して表示されるもの
- ロ 屋外で表示されるもの
- ハ 駅の改札口の内側に表示されるもの
- ニ 立看板、はり紙、広告塔など

190 屋外広告物法による「屋外広告物」の定義は、「常時又は一定の期間継続して屋外で公衆に表示されるものであって、看板、立看板、はり紙及びはり札並びに広告塔、広告板、建物その他の工作物等に掲出され又は表示されたもの」であるが、その解釈のうち、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 「常時又は一定の期間継続して」とは、1日24時間以上、それが継続して掲出されれば該当する。
- ロ 「屋外」とは、物体が設置されている場所が屋外かどうかで、屋外から見えるという意味ではない。
- ハ 「公衆」とは、不特定多数人をいう。例えば、野球場などの入場者など特定の人は対象外。
- ニ 「その他の工作物」とは、障壁、塀等、樹木や岩石等も含まれる。

191 屋外広告物関係法令等による景観計画に関する記述として、誤っているものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 景観法に基づき定められる。
- ロ 景観に関する総合的な計画である。
- ハ 屋外広告物の表示や掲出に関し、制限を設けることができる。
- ニ 屋外広告物条例に適合した広告物であっても、景観計画に適合しなければ、掲出が制限される。

192 都道府県が屋外広告業を営む際に知事への登録を義務付けるとき、条例で定めなければならない登録の有効期限は、どれか。 (20年度 択一)

- イ 5年
- ロ 4年
- ハ 3年
- ニ 2年

193 屋外広告物ガイドライン(案)の内容に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 規制を受ける側の便宜が考慮されている。
- ロ 各地で定められた条例間で、屋外広告物に著しい差が発生しないように調整する役割も持っている。
- ハ 地方公共団体が屋外広告物条例を制定・改正する際に、法律で遵守が義務付けられている基準である。
- ニ 前身は「屋外広告物標準条例(案)」である。

194 屋外広告物法第3条により広告物の掲出が禁止できる地域又は場所として、適切でないものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 都市計画法の規定により定められた景観地区
- ロ 重要文化財に指定された建造物を中心とした半径500m以内の範囲
- ハ 保安林のある地域
- ニ 知事が指定する道路の区間又は道路に接続する地域

## 【安全衛生】

- 195 インクジェットプリンタを使用する作業では、有機溶剤作業主任者の選任や排気装置の設置を含む措置が必要となる場合がある。 (24年度 真偽)
- 196 塗装に使用した有機溶剤や油性塗料の付着したウエスを、1箇所に積み上げておくと、自然発火することがある。 (24年度 真偽)
- 197 ガス溶接における作業主任者は、各事業所が独自に実施する講習の修了者のうちから選任すればよい。 (24年度 真偽)
- 198 労働安全衛生法関係法令によれば、作業床の高さが10m以上の高所作業車の運転は、技能講習を修了したものでなければ、その業務につくことができない。 (23年度 真偽)
- 199 労働安全衛生法関係法令によれば、元請・下請の労働者が同一の事業場で作業する場合、各企業の主体が異なるので、労働災害を防止するための相互の連絡義務はない。 (23年度 真偽)
- 200 労働安全衛生法関係法令によれば、屋内作業場において有機溶剤を取り扱う業務については、作業場の数に関係なく一社一人の有機溶剤作業主任者を置くことが義務付けられている。 (23年度 真偽)
- 201 労働安全衛生関係法令によれば、足場の組立て等の作業主任者が事業所に1名選任されていれば、同時に異なった作業場で足場の組立て等の作業が実施できる。 (23年度 真偽)
- 202 労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は政令で定める有害な業務を行う作業場については、必要な作業環境測定を行い、その結果を記録しておかなければならない。 (22年度 真偽)
- 203 労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、労働者につり上げ荷重が1トン未満の移動式クレーンの業務に就かせる場合は、安全のための特別教育を受けさせなければならない。 (22年度 真偽)
- 204 塗装に使用した有機溶剤や油性塗料の付着したウエスを、1箇所に積み上げておくと、自然発火することがある。 (21年度 真偽)
- 205 インクジェットプリンタを使用する作業では、有機溶剤作業主任者の選任や排気装置の設置を含む措置が必要となる場合がある。 (20年度 真偽)
- 206 労働安全衛生関係法令によれば、安全管理者は、厚生労働大臣が定める研修を受けた者の中から選任しなければならない。 (19年度 真偽)
- 207 元請・下請けの労働者が同一の事業場で作業する場合、各企業の主体が異なるので、労働災害を防止するための相互の連絡義務はない。 (19年度 真偽)
- 208 労働安全衛生法関係法令によれば、普通の作業を行うときに必要な照度として、正しいものはどれか。 (24年度 択一)
- イ 150ルクス以上  
　ロ 120ルクス以上  
　ハ 100ルクス以上  
　ニ 80ルクス以上
- 209 労働安全衛生法関係法令によれば、都道府県労働局長の免許を受けた者の中から選任しなければならないものはどれか。 (24年度 択一)
- イ ガス溶接作業主任者  
　ロ 有機溶剤作業主任者  
　ハ 足場の組立て等作業主任者  
　ニ 建築物等の鉄骨の組立等作業主任者

210 作業中に化学物質による中毒症状を起こした際に行う応急処置の手順のうち、誤っているものはどれか。 (23年度 択一)

- イ 周囲の状況から中毒の原因となった物質を確認する。
- ロ 振発性物質・腐食性物質を誤飲し、けいれんや意識障害などの症状がある場合には、毒物を吐かせる。
- ハ ガスを吸引した場合は、きれいな空気の場所に移動させ、衣服を緩め安静にさせる。
- ニ 皮膚に付いた場合は、汚染した衣服を脱がせ、流水で水洗いし、皮膚からの吸収を抑えるとともに毒物を薄める。

211 労働安全衛生法関係法令において規定されている、安全管理者を選任しなければならない建設業の事業場の常用労働者数として、正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 常時10人以上
- ロ 常時50人以上
- ハ 常時100人以上
- ニ 常時500人以上

212 文中の( )内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

労働安全衛生関係法令によれば、作業床の高さが( )以上の高所作業車の運転は、技能講習を修了したものでなければ、その業務に就くことができない。 (22年度 択一)

- イ 2 m
- ロ 3 m
- ハ 5 m
- ニ 10m

213 作業場内の環境を快適に保つことは、従業員の安全や健康、効率の良い作業を継続する上で重要である。屋内作業場の環境と環境を快適に保つために必要な措置の組合せとして、適切でないものはどれか。 (21年度 択一)

環境	措置
イ 空気環境	－ 粉塵や臭気について、不快と感ずることのないようにする。
ロ 視環境	－ 採光、色彩環境、光源の性質にも考慮する。
ハ 溫熱環境	－ 作業の内容、季節にかかわらず常に一定の温度に保つ。
ニ 音環境	－ 作業場内の騒音源となる機械設備を遮音材で覆う。

214 有機溶剤を取り扱う作業場で、作業者がガスを吸入して卒倒した場合、現場関係者が行う応急処置として、誤っているものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 呼吸停止の場合、手を触れず、医者が来るまでそのままの状態で置く。
- ロ 衣服をゆるめる。
- ハ 意識喪失の場合、口中の異物を取り除く。
- ニ 通風の良いところに運び、頭を低くして寝かせる。

215 文中の( )に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

クレーン等安全規則は、クレーン、移動式クレーン、デリック、エレベーター、建設用リフト及び簡易リフトを使用する作業において生ずる労働災害を防止するため、( )に基づいて定められた省令である。

(20年度 択一)

- イ 労働安全衛生法
- ロ 労働安全衛生法施行令
- ハ 労働安全衛生規則
- ニ 安全衛生特別教育規程

## 1級共通

### 【広告物の種類及び構造】

- 1 ○  
2 × 懸垂幕のことであり、屋外広告物である。  
3 ○  
4 ○  
5 ×  
6 ○  
7 × 一時的で、かつ、設置者の直接的な管理下にあるものは屋外広告物に該当しない。  
8 ×  
9 ニ  
10 イ  
11 ハ  
12 ニ  
13 ハ  
14 ハ  
15 ニ

### 【広告物の素地の製作方法】

- 16 ○  
17 ○  
18 × 型とプラスチック板の間の空間から空気を抜き、真空にして成形する。  
19 ○  
20 ○ 作業性、安全性、設備面、経済性からも、現場より工場での溶接が適している。  
21 ×  
22 × プラスチックや樹脂などの材料と、型の間の空気を型の下から吸い出し真空状態を作り出すことで、樹脂と型を密着させ成形する。  
23 ×  
24 ×  
25 ハ 電気抵抗を利用した溶接であるため、電気伝導率と熱伝導率が共に高いアルミニウムの場合は溶接できない。  
26 口 二本のネオン管が分かれて見える

限界は、2本の間隔の1000～1500倍

- 27 ニ  
28 ハ  
29 ニ  
30 口  
31 イ

### 【広告物の製作図の作成方法】

- 32 × 構造計算書は図面ではなく、構造計算の概要・仮定条件・計算式・計算結果などをまとめた書類のこと。  
33 ○  
34 ○  
35 ○  
36 ○  
37 ○  
38 口  
39 口  
40 口  
41 ハ  
42 イ  
43 口

### 【広告物の取り付け方法】

- 44 ×  
45 ×  
46 ×  
47 ニ 建築基準法施行令第68条第2項でボルト径プラス2mmまたは3mmまでと定められている。  
48 口  
49 口  
50 ハ  
51 ニ  
52 ハ  
53 イ  
54 ニ  
55 口  
56 イ

### 【広告物の安全に関する力学の基礎】

- 57 ×  
58 ○  
59 ○  
60 ×  
61 × 建物に取り付けられた広告板に作用する地震力は、広告板とその支持構造物の重量の合計と同じ。  
62 ハ  
63 ハ  
64 ニ  
65 ハ  
66 ニ  
67 ハ  
68 イ

### 【材料】

- 69 ×  
70 ×  
71 ○  
72 ×  
73 ×  
74 ○  
75 ○  
76 ○  
77 ○  
78 ×  
79 ○  
80 ×  
81 口  
82 ニ  
83 ハ  
84 ハ  
85 ハ  
86 ハ  
87 ハ  
88 ハ  
89 ハ  
90 ニ  
91 口

92 口

93 イ

94 イ

### 【機械器工具】

- 95 ○  
96 ○  
97 ×

### 【コミュニケーションとデザイン】

- 98 ○  
99 ×  
100 ○  
101 × 注目→興味→欲求→記憶→行動の順。  
102 ハ  
103 ハ  
104 口  
105 ×

### 【デザインの基礎】

- 106 ○  
107 ○  
108 ○  
109 ×  
110 × 黄金比の近似値は1:1.618。  
111 ○  
112 ×  
113 ×  
114 ○  
115 ×  
116 ハ  
117 イ フロッタージュは凹凸のある物の上に紙を乗せ、鉛筆などで紙をこすることにより物の凸部を写し取る技法、デカルコマニーは紙の上に絵の具を乗せ、紙を折ったり別の紙を乗せることで絵の具をつぶし、偶然の形を作成する技法。  
118 ニ  
119 ニ シンメトリーは、上下、左右対称、あるいは放射対称であるため均衡がとれ、安定して見える。  
120 ニ

121 ハ

122 ハ ハは正しくは「排斥」

### 【広告デザイン】

123 × イタリックと呼ばれている。

124 × CIはコーポレート・アイデンティティ(自己証明)の略、企業行動は、ビヘービア・アイデンティティ(BI)。

125 × ブランド・アイデンティティの略。

126 ×

127 ○

128 ○

129 ○

130 ○

131 ニ

132 ニ

133 □

134 □

135 □

136 イ

137 ニ

138 イ

139 □ 最低の1000倍と仮定すると、2本の間隔が分かれて見えるためには1m必要であるため、田の字を見分けるには2m必要。

140 ハ

141 イ イは機械化時代(近世～近代)

142 ハ ハは視認性、可読性共に落ちる。

143 □

### 【色彩】

144 ○

145 × 10Rの方が低い。

146 ○

147 ×

148 ×

149 ×

150 ×

151 ○

152 ○

153 ○

154 ○

155 ニ

156 ニ ニは、黄色みがかった見える。

157 イ ピピットトーンは、各色相の中で最も鮮やかな色のこと。無彩色の系列ではない。

158 ハ マゼンタ・イエロー・シアンを三原色とするのは、減法混合で、絵の具を混ぜる際などにみられる混色方法。三色の混合量が

159 □

160 ニ

161 □

162 ハ

163 ハ

### 【美観風致】

164 × 環境影響評価のことで、大規模開発事業に先立ち、環境に与える影響を調査・予測した結果を公表し、一般・地方公共団体などから意見を聴き、環境の保全の観点から事業計画を作り上げようとする制度。

165 × 樹木などの自然的要素も含まれる。

166 ○

167 × ランドマークとは、ある地域の目印や象徴的な景観要素となるもので、地域における景観の特性を把握する上では考慮すべき。

168 ○

169 ○

170 □

171 □

172 □

173 ニ

174 ニ 美観の維持とは、都市の造形美、人工美を維持すること。

175 ニ

176 ニ ニは景観の内容を述べている。

### 【関係法規】

177 ○

178 ○

179 ×

180 × 表示に際して知事の許可が必要と

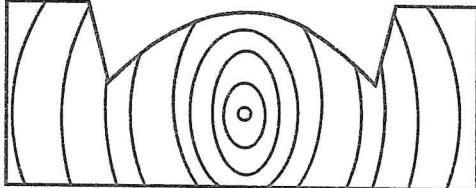
	なる適用除外物件がある。		
181	×	206 ○	
182	×	207 ×	
183	×	208 イ	
184	ハ	あくまでも参考であり、遵守は義務付けられていない。	209 イ
185	イ	210 口 振発・腐食性物質は、そのまま吐かせると、食道などの器官を通過する際に再度ダメージを与える。	
186	口	211 口	
187	イ	212 ニ	
188	口	213 ハ 事業者が講すべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針(H 4. 7. 1 労働省告示第 59 号)	
189	ハ	214 イ	
190	イ	215 イ	
191	ニ	屋外広告物が二重規制されないよう、屋外広告物は屋外広告物条例によって規制されているが、屋外広告物と景観計画との整合性をはかる目的で屋外広告物法第 6 条が規定されている。	1 級ペイント
192	イ		
193	ハ	【専門仕上げ法】	
194	口		
<b>【安全衛生】</b>			
195	○	ソルベントインクに有機溶剤シクロヘキサンが使用されている場合、有機溶剤中毒予防規則に基づく措置が必要。	216 ×
196	○	アルキッド樹脂塗料などの塗料は、布上で酸化重合反応が起こり、発熱して発火することがある。	217 ○
197	×	試験により取得する、ガス溶接作業主任者免許を持つ者の中から選ぶ。	218 ○
198	○		219 ○
199	×		220 ×
200	×	作業場に 1 名の作業主任者が必要。	221 ○
201	×		222 ×
202	○		223 ×
203	○		224 ○
204	○		225 ×
205	○	ソルベントインクに有機溶剤シクロヘキサンが使用されている場合、有機溶剤中毒予防規則に基づく措置が必要。	226 ×
			227 ○
			228 ○
			229 ×
			230 ニ
			231 ニ
			232 口
			233 イ
			234 口
			235 ハ
			236 口
			237 ニ
			238 ニ

## 1級問題 ペイント

### 【専門仕上げ法】

- 216 筋かいはけは、丸はけの一種である。 (22年度 真偽)
- 217 メラミン樹脂塗装面の焼付け乾燥には、赤外線が使用される。 (22年度 真偽)
- 218 調色された塗料の原色を知るために、白色を混合して調べるとよい。 (22年度 真偽)
- 219 平筆の太さは、号数が小さくなるほど細くなる。 (20年度 真偽)
- 220 油性塗料で文字を書く場合、カラー鉄板に書くよりも、ガラス面に書くほうが定着性がよい。 (20年度 真偽)
- 221 隠ぺい力の弱い色の塗料は、少量の白を混入すると隠ぺい力を増すことができる。 (20年度 真偽)
- 222 合成樹脂エマルジョンペイントの調色に用いる容器としては、鉄製のものが適している。 (19年度 真偽)
- 223 アルミニウム面や亜鉛めっき面は、一般に、鉄面よりも塗料の付着性がよい。 (19年度 真偽)
- 224 塗料の色合わせを行う場合は、配合量の多い色から順に配合するとよい。 (19年度 真偽)
- 225 ローラブラシは、塗料の含みが少ないと塗面ですべて回転しないことがある。 (18年度 真偽)
- 226 ゴシック筆で文字を書く場合、書きやすくするために、穂先を切りそろえるとよい。 (18年度 真偽)
- 227 アルミニウムペイントに用いられるアルミニウム粉は、浮くように作られているリーフィング形である。 (18年度 真偽)
- 228 木材は、木表に向かって反る性質があるので、切抜き文字の場合は、木表が裏側になるように加工する。 (18年度 真偽)
- 229 ラワン材などの目の深い木材を使用した広告面をラッカーエナメルで仕上げる場合は、下地付けはしないほうがよい。 (18年度 真偽)
- 230 剥離作業に使用される工具として、適切でないものはどれか。 (22年度 択一)
- イ ワイヤーブラシ
  - ロ スクレーパー
  - ハ トーチランプ
  - ニ バール
- 231 ペイント仕上げに関する記述として、正しいものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 強風の所での塗装は、乾燥が速いため作業がしやすい。
  - ロ 湿気の多い所は、ペイント仕上げに適している。
  - ハ 塗装には、うすめ液、溶剤を使用しないほうが、塗装面が美しく仕上がる。
  - ニ エマルジョン塗料は、室内における塗装でも引火のおそれはない。

- 232 広告板の製作・施工に関する記述として正しいものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 広告板の鉄骨枠の上に鉄板を張る場合は、内部からさびや汚れが広告面に現われないよう下の方から上へ張りつけていく。
- ロ 広告面の塗装で塗り重ねるとき、下層の塗膜が十分硬化乾燥していないと、ちぢみやつやむらを生ずる。
- ハ 新しい平筆は、描きやすくするために筆の穂先を切り揃えなければならない。
- ニ 広告板の取付けで、建築中の壁面にアンカーボルトを内部から固定する作業をホールインアンカーという。
- 233 屋外の10mm角ぐらいの文字を使用した説明板において、耐候性及び耐久性に優れているものはどれか。 (20年度 択一)
- イ ステンレス板に耐腐食加工したもの。
- ロ アクリル板に粘着シート加工したもの。
- ハ アクリル板に彫刻加工したもの。
- ニ 焼付鉄板にスクリーン印刷したもの。
- 234 塗料と希釈剤の組合せで、誤っているものはどれか。 (20年度 択一)
- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| イ 油性ペイント          | ..... ミネラルスピリット |
| ロ 合成樹脂エマルショニ・ペイント | ..... ポイル油      |
| ハ 合成樹脂ペイント        | ..... テレピン油     |
| ニ オイルサフェサー        | ..... 塗料シンナー    |
- 235 亜鉛引き鉄板に塗装前の素地調整を行うには、エッチングプライマーを塗布するが、次の文中的イ～ニの( )のうち、適切でないものはどれか。
- エッティングプライマーは、(イ 1回塗り)とし、うすめ液は(ロ 専用シンナー)を使用し、(ハ うすめ率は25%以内)とし、塗布量は0.05～0.08kg/m<sup>2</sup>がよい。塗布は、(ニ 湿度80%以上)の場合は避け、塗布後3時間以上、12時間以内に次工程の塗装をする。 (20年度 択一)
- 236 筋かい刷毛の説明として、正しいものはどれか。 (19年度 択一)
- イ 刷毛先が、筋かいに分かれている刷毛
- ロ 刷毛先が、柄に対して傾斜している刷毛
- ハ 刷毛の所に筋かいを入れ、補強された刷毛
- ニ 丸刷毛を改良した刷毛
- 237 ふつ素樹脂塗料の特長として、最も顕著なものはどれか。 (19年度 択一)
- イ 耐水性
- ロ 耐溶剤性
- ハ 耐油性
- ニ 耐汚性
- 238 カリグラフィーに関する記述として、適切なものはどれか。 (19年度 択一)
- イ 活字や写植文字のことをいう。
- ロ デジタル処理した文字をいう。
- ハ レタリングなどの文字デザインのことをいう。
- ニ 筆文字などの肉筆で書かれた文字のことをいう。
- 239 エアスプレーガンのノズルに関する記述のイ～ニの( )のうち、適切でないものはどれか。
- エアスプレーガンのノズルは、塗料の(イ 種類)、(ロ 粘度)、(ハ 粒子)並びに(ニ 希釈剤)によって交換すべきである。 (18年度 択一)

- 240 刷毛に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 寸胴刷毛—腰が強く、主に馬毛が使われ、粘度の高いペイントや広い板面に塗装するのに適している。
  - ロ 筋違刷毛—腰の強い豚毛が使われ、ペイントやニス塗りに適している。
  - ハ 丸刷毛—毛の植込みが多く、羊毛、馬毛、豚毛などが使われ、ワニス塗りに適している。
  - ニ 平刷毛—毛先が柔らかで、羊毛等が使われ、ラッカー、水性塗装に適している。
- 241 塗料に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 合成樹脂エマルションペイントは、揮発重合乾燥形の塗料である。
  - ロ 合成樹脂エナメル塗料は、揮発酸化乾燥形の塗料である。
  - ハ エポキシ樹脂塗料は、硬化剤によって固化する塗料である。
  - ニ 塩化ビニル樹脂塗料は、揮発乾燥形の塗料である。
- 242 広告面として、耐久性の低いものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 鉄板に調合ペイント塗装したもの。
  - ロ アルミ板に粘着シート貼りしたもの。
  - ハ カラートタンにフタル酸樹脂エナメルしたもの。
  - ニ ステンレス板に焼付塗装したもの。
- 【専門以外の仕上げ法】
- 243 スクリーンプロセス印刷のための原稿には、左右反転された図形を描く。 (22年度 真偽)
- 244 真空成形加工による広告板には、成形前にスクリーンプロセス印刷を行う。 (22年度 真偽)
- 245 シルクスクリーンプロセスのインクは、被写体の材質によって異なるので注意しなければならない。 (20年度 真偽)
- 246 下図は、木彫看板の平彫りの断面図である。 (20年度 真偽)
- 
- 247 スクリーンプロセス印刷をした磨耗しやすい製品には、ラミネート加工するとよい。 (19年度 真偽)
- 248 アクリルやガラス面に粘着シートを水貼りする場合、水がはじかれないように、中性洗剤を多めに入れるといい。 (19年度 真偽)
- 249 レーザー光線は、プラスチック板の切り抜きには適さない。 (18年度 真偽)
- 250 スクリーンプロセス印刷の写真製版のスクリーンには、テトロンとナイロンが多く使用されている。 (18年度 真偽)
- 251 鉄板広告板にメラミン樹脂塗料を焼き付ける場合の加熱温度として、適切なものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 50°C
  - ロ 120°C
  - ハ 320°C
  - ニ 450°C

- 252 粘着シートの接着強度が最も良い被着体は、次のどれか。 (22年度 択一)
- イ 塩化ビニル板  
ロ カラー鉄板  
ハ ガラス板  
ニ 亜鉛めっき鋼板
- 253 立体造型に関する記述中のイ～ニの( )のうち、誤っているものはどれか。  
(イ 自己消火性)の(ロ 難燃発泡スチロール)で造形し、(ハ 硬質ウレタン樹脂)で表面をコーティングした立体造形は、従来のFRP樹脂よりも(ニ 堅固)で、安価軽量である。  
(20年度 択一)
- 254 かつら材の浮出し文字に反りを生じさせないための製作時の方法として、正しいものはどれか。  
(20年度 択一)
- イ かつら材の木表を表面にする。  
ロ かつら材の木理のよい方を表面にする。  
ハ かつら材の木裏を表面にする。  
ニ かつら材の乾燥が70%以上であれば、表裏どちらでもよい。
- 255 エッティングプライマーの使用目的として、適切でないものはどれか。 (19年度 択一)
- イ 吸込み止め  
ロ 耐水性の向上  
ハ 付着性の向上  
ニ 防錆力の付与
- 256 金属面下地塗装の手順として、適切なものはどれか。 (19年度 択一)
- イ プライマー → パテ → サーフェーサー → 上塗り  
ロ サーフェーサー → プライマー → パテ → 上塗り  
ハ サーフェーサー → パテ → プライマー → 上塗り  
ニ プライマー → サーフェーサー → パテ → 上塗り
- 257 金属素材に塗る下地剤に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ サーフェーサーは、パテ面及び上塗りの仕上がりを良くするためのものである。  
ロ シーラーは、下塗りの素地をより安定させるものである。  
ハ パテサーフェーサーは、パテとサーフェーサーの両方の性能をもつものである。  
ニ プライマーは、塗装の付着性を良くするものである。

	なる適用除外物件がある。	
181	×	206 ○
182	×	207 ×
183	×	208 イ
184	ハ あくまでも参考であり、遵守は義務付けられていない。	209 イ 210 口 挿発・腐食性物質は、そのまま吐かせると、食道などの器官を通過する際に再度ダメージを与える。
185	イ	211 口
186	口	212 ニ
187	イ	213 ハ 事業者が講ずべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針(H 4. 7. 1 労働省告示第 59 号)
188	口	214 イ
189	ハ	215 イ
190	イ	
191	ニ 屋外広告物が二重規制されないよう、屋外広告物は屋外広告物条例によって規制されているが、屋外広告物と景観計画との整合性をはかる目的で屋外広告物法第6条が規定されている。	1級ペイント 【専門仕上げ法】
192	イ	216 ×
193	ハ	217 ○
194	口	218 ○
【安全衛生】		219 ○
195	○ ソルベントインクに有機溶剤シクロヘキサンが使用されている場合、有機溶剤中毒予防規則に基づく措置が必要。	220 ×
196	○ アルキッド樹脂塗料などの塗料は、布上で酸化重合反応が起こり、発熱して発火することがある。	221 ○
197	× 試験により取得する、ガス溶接作業主任者免許を持つ者の中から選ぶ。	222 ×
198	○	223 ×
199	×	224 ○
200	× 作業場に1名の作業主任者が必要。	225 ×
201	×	226 ×
202	○	227 ○
203	○	228 ○
204	○	229 ×
205	○ ソルベントインクに有機溶剤シクロヘキサンが使用されている場合、有機溶剤中毒予防規則に基づく措置が必要。	230 ニ 231 ニ 232 口 233 イ 234 口 235 ハ 236 口 237 ニ 238 ニ

- 239 ニ 希釀剤は粘度を調整するものであり、ノズル径との関係はない。
- 240 ロ 筋違刷毛は、腰が強く塗料の含みの良い馬毛などを使って作られている。

241 イ

242 イ

#### 【専門以外の仕上げ法】

- 243 ×
- 244 ○
- 245 ○
- 246 × 図はかまぼこ彫り。
- 247 ○
- 248 ×
- 249 × 平滑・綺麗に仕上がる。
- 250 ○
- 251 ロ
- 252 イ
- 253 ニ
- 254 ハ 木理とは木目のよい方向なので、反りとは関係ない。
- 255 イ
- 256 イ
- 257 ロ

#### 1級シート

#### 【専門仕上げ法】

- 258 × 装飾用粘着シートは塩ビなどの樹脂が使用されており、水を弾くため水性インクでは印刷できない。
- 259 ○
- 260 ○ ポリカーボネート板からは、水と二酸化炭素を成分とする気泡（アウトガス）が発生する。
- 261 ×
- 262 ○
- 263 ×
- 264 ×
- 265 ×
- 266 × 100ミリミクロン前後のものが多い。
- 267 ×

- 268 ○
- 269 ×
- 270 × 粘着シートの色は、メーカー独自の名称を用いている。
- 271 ○
- 272 ○
- 273 ○
- 274 ×
- 275 ○
- 276 ○
- 277 ○
- 278 ×
- 279 ×
- 280 × 一般的には25~100ミクロンの厚み。
- 281 ○
- 282 ○
- 283 ○
- 284 ×
- 285 ○
- 286 ○
- 287 × 塩化ビニル板が最も強い
- 288 ○
- 289 ロ
- 290 ニ
- 291 ニ フッ素樹脂コーティングは耐候性、対汚染性に優れ、適度なコーティングにより重ね貼りも可能だがインク等の印刷は不可能。
- 292 ハ
- 293 ハ
- 294 ニ
- 295 イ
- 296 ロ
- 297 ハ
- 298 ニ
- 299 ハ
- 300 ハ
- 301 ロ
- 302 ハ
- 303 ハ スリッターは、粘着シートのロー